

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2028年3月31日	評価番号	A-463		
評価技術名称					連絡先	https://www.aichi-gensai.jp				
部分開口 構造用合板補強工法 真壁「押入」裏棧なし					愛知建築地震災害軽減システム研究協議会					
					実験実施機関 :名古屋工業大学					
概要	技術概要 真壁で押入の床及び天井の間で段板を除いた部分を構造用合板で補強する工法。									
	技術の特徴						コスト			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>天井・床・中段・枕棚/天袋を解体することなく補強が可能</li> <li>壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能</li> <li>一般流通品なので取り扱いが容易</li> </ul>						サンプル構面	30,282 円/kN		
						設計見積り例	—			
適用範囲					写真・図					
構法		木造在来軸組工法								
規模		3階建て以下								
基礎、地盤		特になし								
適用部位		内外壁								
耐震性能										
評価仕様:真壁仕様										
壁基準耐力		壁基準剛性								
1.56kN/m		219kN/rad./m								
A-111からの低減係数 $\alpha = 0.3$										
壁基準耐力 $5.2 \times 0.3 = 1.56$										
設計方法										
① 柱接合部による低減 : 取付部分が健全であること										
② 劣化による低減 : 取付部分が健全であること										
施工者指定										
特になし										
主要構成部材の仕様										
仕様	構造用合板		真壁、厚 12mm、縦使い、各高さ 400mm 以上							
			釘 N50、CN50、@100mm 以下、川の字打ち、端あき 15mm 以上 20mm 以下							
	間柱		なし							
	継手受材		なし							
	上下受材		なし							
	四方受材		〈縦〉 奥行 30×見付 40mm 以上、釘 N75 @150mm 以下、または N90 @200mm 以下							
	下地材		なし							
	アルミアングル		なし							
かさ上げ材		なし								
その他										